

山内ふるさと絵屏風

山内エコクラブでは、これまで8年に渡り行ってきた昔のくらしの聞き取りをあつめ、地域の方々と一緒にふるさと絵屏風にまとめてきた。そこに生きた一人ひとりの心に息づく生業、生活風俗、祭りや行事、季節の移ろい等生活物語である。尊厳ある先人たちの生きた知恵、自然との共生したくらし、地域のなかでの結は、未来につながる歴史“記憶遺産”として残したいと考える。

平成28年度は、猪鼻・山中・黒川地区、平成29年度は、笹路、黒滝、山女原地区、山内すべての地域で絵屏風が完成した。「ふるさと絵屏風」は、滋賀県立大学 上田洋平助教が考案されたもので、県下でも40以上の地域で取り組まれている。

山内では地元のモノが語る、描くことで、今までなんとも思っていなかった在所の価値の再発見につながった。本絵屏風は、「過去を育み、未来を創る」(上田氏) ツールになるものであり、記憶遺産に位置付けたい。

今回は、山内の6地区のお披露目と共に、県内の先進事例である草津の矢倉、渋川、甲賀市の水口町今郷好日会、南比良のふるさと絵屏風をご覧ください。

ゲストの方々

♪ふるさとコンサート 盛井智彰(もりいともあき)さん

1983年日野町生まれ。家はお寺。福祉施設職員の傍らシンガーソングライターとしてギター片手にソロ活動やユニットを結成し、各地で平和の歌などを伝える。仕事、地域活動、音楽活動などを通して、認め合い、支え合う街づくりをめざして、精一杯生きようとする人を応援する歌声は好評を博している。

♪ハンドベル ふらんしーず：平成24年にできた介護予防を目的としたハンドベルサークル、30曲以上のレパートリーを持ち、童謡や懐メロを中心に、山内内外への演奏活動ができるまでになった。絵屏風の語りのバックでコンサートを盛り上げていただく。

♪箏 ぶーふーうー：平成20年に有志で結成した箏の自主活動サークル。6人のユニットで、キーボードをベースにレパートリーを広げている。施設慰問や老人会の演奏依頼などで腕を上げてきている。

乾 亨先生(フリーセッションコメンター)

立命館大学産業社会学部教授。学術博士。京都大学大学院博士課程を修了後、建築事務所を経たのち、立命館大学にて教鞭を取られ20年を超える。専門は、「住み手参加のまちづくり・地域コミュニティの再生・コミュニティガバナンス」で、住み手・使い手が環境を自分たちで創ろうとする実践活動を住み手・使い手と一緒に実践的支援をしながら「もの」と「ひと」と「くらし」の相互浸透的な関係を掘りあげ、学生に伝えていく「参加型研究者」。

2月8日に、急逝された延藤安弘先生とは大学院時代に出会い、住み手参加の計画づくりをともに研究されてきた一番弟子。『“まちづくり”とは住民一人ひとりが機嫌よう暮らしていける状況をつくりだすプロセス』との持論が注目されている。フィールドは「まち」だが、私たちが住む中山間地域の「むら」の取組みにどのようなコメントいただけるか、乞うご期待。

【申し込み方法】 山内地域市民センター(山内公民館) 締め切り：平成30年3月7日(水)

当日参加も大丈夫ですが、人数把握のために申し込みにご協力ください。

ファックス、メール、電話、郵送をお願いします。

山内地域市民センター 甲賀市土山町黒川1970 電話・FAX(0748-68-0001)

メール ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp (山内エコクラブ)

★山内・春のふれあいコンサート FAX・申込書

(FAX 0748-68-0001)

お名前	住所	連絡先

第7回 山内春のふれあいコンサート ★7ファイナル!

ふるさと絵屏風 絵屏風親類大集合 お披露目コンサート

日時：2018年3月10日（土）

13：15開演（12時半開場）16時終演予定

会場：ダイヤモンド滋賀ホテル

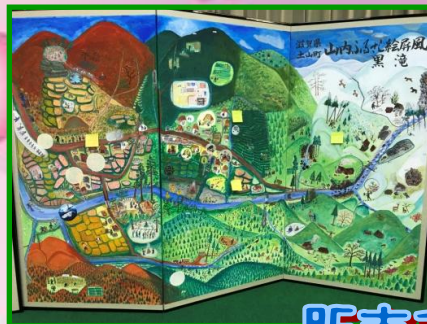
甲賀市土山町黒川171

入場料：500円

やっぽんぽん入湯割引券付き

地域資源活性化プログラム

- ・山内ふるさと絵屏風 絵解き（2017年度完成 笹路・黒滝・山女原版）
- ・絵屏風親戚フリーセッション
（集合した絵屏風を見て、みんなで指さし放題・聞きたい放題！）
コメンテーター 乾亨先生（立命館大学 産業社会学部 教授）
- ・ふるさとを歌おうコンサート～盛井智彰さん（シンガーソングライター）



販売コーナー

- ・山内特産品（桜餅・ういろう）
- ・シフォンケーキ等洋菓子
- ・山内絵図特製タペストリー
（限定50枚）

主催：山内エコクラブ 共催：山内自治振興会
協力：山内ゆうゆうクラブ、ダイヤモンド滋賀
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、甲賀市教育委員会、